

# おがもカーシェアリング倶楽部

共助交通による地域コミュニティの  
向上と支え合い暮らしやすい地域づくりの  
構築を目指して！！

おがもカーシェアリング倶楽部  
イメージキャラクター



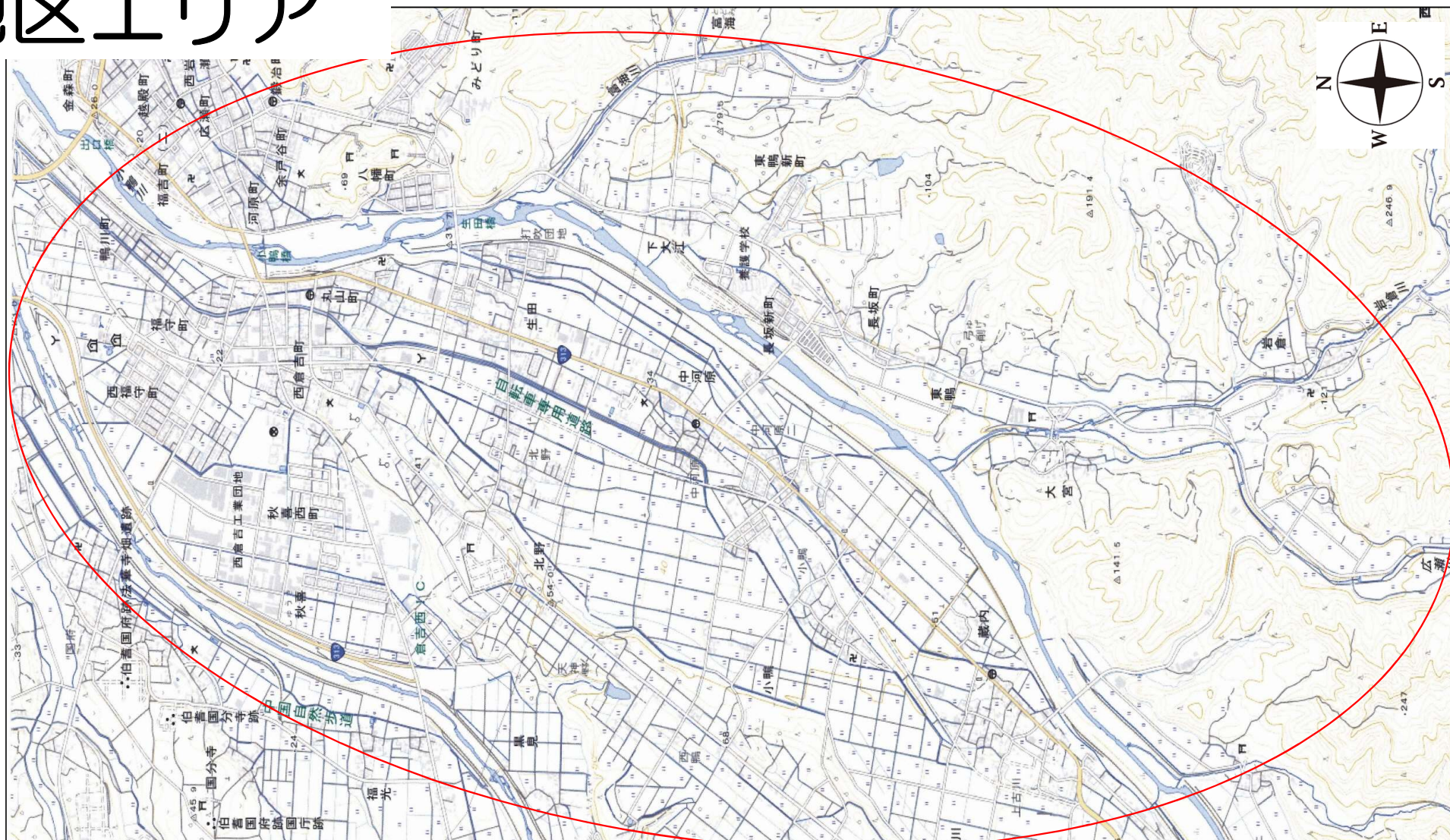
# 地域特性

1. 小鴨地区の人口等（令和3年11末日現在）
  - 世帯数：2,794世帯
  - 人口：6,542人  
（65歳以上：2,159人[高齢化率33.3%]）
2. 小鴨地区の地理特性等
  - 一級河川「小鴨川」を挟んで東西に5キロ、南北に10キロと細長い地区です。
  - 350世帯ある町区から14世帯の町区と大小さまざままで22町区あります。





# 地区エリア



## 地域課題

課題 1 . 小鴨地区でバス路線が無い町区がある。

課題 2 . 高齢化率 33%、高齢者の運転免許返納者数も増えてくることが予想される。

課題 3 . 人口減少に伴う公共交通の空白化が進むと移動手段と、人とのコミュニケーションの機会が無くなる恐れも考えられる。





# はじまり

## ①小鴨まるごと会議

各種団体（16団体）で構成される小鴨まるごと会議」では、地域の困難事案や課題について、幅広い関係者で支援体制等を総合的に調整し推進しています。

## ●令和2年の活動目標がボランティア育成。

- ・ボランティアの種類（有償、無償）の調査から始まる。
- ・小鴨地区内で行われていないボランティア活動（雪掻き、草刈、ごみ出し、**カーシェア**等々）

（平成30年に買い物ツアーを実施したが、集団ではなく個人での買い物の要望等があったこと等を受けて**カーシェア**が**クローズアップ**される。）



# はじまり

- 人口減少に伴う公共交通の空白化が進むと移動手段と、人とのコミュニケーションの機会が奪われてしまう恐れも考えられることから、小鴨まるごと会議に「共助交通部会」を立ち上げた。
- 小鴨地区内で可能性調査アンケート、近隣で取り組まれる共助交通を学び、県・市の支援の下で準備を進めた
- 小鴨地区共助交通リモート勉強会（地区全体への周知徹底）  
（館長、社会福祉部長、民生児童委員、福祉協力員：参加者 68名）
- アンケート実施（小鴨地区全世帯に）（結果は次ページ参照）
  - ・配布部数2,053部（1,778部[回収率86.6%]）



# はじまり

## ◆アンケート結果（抜粋）

質問	選択肢	回答数
問10(問25) 公共交通（バス）の利用をしますか？	1.毎日利用する	13
	2.週2回以上利用する	36
	3.月に数回利用する	128
	4.年に数回利用する	330
	5.利用しない	1529
	無回答	78
問11(問26) 移動手段にタクシーの利用をしますか？	1.毎日利用する	0
	2.週2回以上利用する	11
	3.月に数回利用する	93
	4.年に数回利用する	446
	5.利用しない	1489
	無回答	75
問12(問27) 運転免許証の自主返納を考えていますか？	1.自主返納を考えている	192
	2.考えていない	1316
	3.検討中である	153
	4.運転免許証を持っていない	373
	無回答	80

質問	選択肢	回答数
問13(問28) この共助交通（案）の取り組みへの関心は？	1.非常に関心がある	354
	2.まあまあ関心がある	1071
	3.関心がない	597
	無回答	91
問14(問29) この小鴨地区の共助交通の仕組み（案）についてお尋ねします。	1.あったほうが良い	1025
	2.無くてもよい	117
	3.どちらとも言えない	894
	無回答	77
問15(問30) 問14（問29）で「無くてもよい」理由は何ですか？	1.共助交通の意味がわからない	39
	2.家族、近所に親族がいるから	42
	3.その他	36
問16(問31) この共助交通（案）の取り組みが始まりましたら会員として登録されますか？	1.会員として登録したい	238
	2.十分に検討したい	299
	3.今は分からない	1140
	4.登録しない	341
	無回答	96
問17(問32) この共助交通（案）の取り組みが始まりましたらドライバーとして登録されますか？	1.ドライバーとして登録したい	47
	2.十分に検討したい	150
	3.今は分からない	689
	4.登録しない	1113
	無回答	113

# はじまり

- ◎小嶋まるごと会議メンバーを核としてドライバー9名を選定し、発起人会メンバー並びに役員に就任頂く。  
(役員には元タクシー運転手、女性を含む) 平均年齢 69.5歳

- ◎ボランティアドライバー9名は元タクシー運転手から接客研修を受け、接客マニュアルの作成、実践を行っている。





# “ドライバー” 運行時チェックリスト

◆始動時確認	◆目的地到着時	◆入庫終了時確認
①運転日報、キーを預かり、車両の外周点検 (傷,凹みの確認)	①運行支援距離の告知と預り金の受取	①運転日報の終了時距離の記入 (総積算距離)
②利用者宅(目的地)の確認 (運転日報への記載)	②後続車両に注意し、後部ドアの開閉 (縁石、段差に注意)	②車内の抗菌・除菌 (備え付けの除菌スプレー)
③笑顔の練習	③車内の忘れ物の確認	③現金日計票の作成 (最終運転者)
④法定速度の厳守	④給油メーターの確認 (不足の場合は給油の事)	④預り金袋、車のカギ、運転日報の返還

**※万一、交通事故に遭遇した場合は警察への連絡、事務局、→会長への報告を行う。  
利用者・同乗者が居る場合は、家族への連絡を怠らないこと。**

## 小鴨まるごと会議とは

平成27年12月に小鴨地区社会福祉協議会役員会において「まるごと会議」について協議され、地区公民館・社会福祉協議会・包括センターの三者が、小鴨地区の情報や課題を共有し、連携を図り、小鴨地区におけるケア体制の整備を支援する「小鴨まるごとケア会議」が発足した。その後、住民主導になったため、『小鴨まるごと会議』に改名。

### ○活動内容

- ◎平成30年：福祉アンケート、買物支援（コース設定で2回実施）
- ◎令和 元年：福祉計画の策定、防災について（備蓄品紹介、除雪機講習会等）
- 令和 2年：ボランティア育成 → 共助交通

### [会議メンバー]

地区社協会長・副会長、自治公協議会長・副会長、シニアクラブ会長、民児協会長・副会長、青少協会長、母子会長、身障協代表、福祉協力員代表、給食ボランティア代表、女性のつどい代表、小鴨小学校長、小鴨保育園長、地区公民館長、やまびこ人権文化センター所長

# 活動状況

●会員数 44名（12月末現在）（平均年齢：79.4歳）

●運行回数（5月本運行～12月末）

534回（月平均67回）（最多月91回、最小月43回）

●走行距離（5月～12月末）

3,882km（内 運行距離1,946km）

●1回の運行平均距離 4km

●移動支援利用内容（5月～12月）

第1位 帰宅

第2位 病院

第3位 サークル活動

第4位 買い物

第5位 会議

第6位 銀行等、お寺、官公庁ほか

# 活動状況

## ◎茶話会



## ◎茶話会でのアンケート報告

- カーシェア利用で助かる・・・95%
- 外出する回数が増えた・・・17%
- 外出回数は変わらない・・・78%
- 利用日時は現状で良い・・・61%
- 土日祝日も利用したい・・・22%
- 16時以降も利用したい・・・17%
- ドライバーの対応が良い・・・100%
- 預り金は妥当な金額、少し安い84%



## ◎自由意見

- 運転手さんに感謝。
- こんなありがたいことがあるのだと感謝。
- 土曜日だけでも利用を。

## ◎自由意見

- タクシー料金より安い。
- カーシェアリングが始まり、運転免許証の返還を決意した。

(会員の中で2名は免許証の返還をされた。)

## ◎お出かけツアー（紅葉狩り）



## ◎お出かけツアー参加者の感想

- 楽しい一日でした。
- 心も身体も元気になるようです。
- 家にいるより楽しい。
- 今後も参加したい。
- 行って良かったので、また計画してください。
- 次回の「ツアー」が楽しみ。
- この歳になって出かけることが無いので良かった。





車内で楽しく



鍵掛峠



お蕎麦定食



鬼女台展望台



# あれこれ

- ◎移動支援での工夫
- ☞ポイントカードで利用促進を図りたい。

## ◆会員の声◆

- ◎利用する楽しみが増えた。
- ◎利用回数が増えた。

[表]

[裏]

### おがもカーシェアリング倶楽部 ポイントカード

このポイントが 10 個になると  
マイルージ特典として移動支援  
1 回がサービスとなる利用券と  
の引き換えができます。



発行日  
令和 3年11月 1日

おがもカーシェアリング倶楽部  
会長 河野 和人  
TEL 28-0964

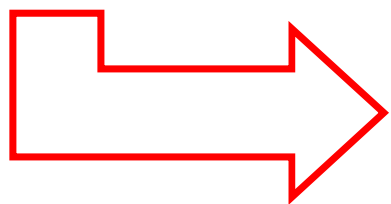
### おがもカーシェアリング倶楽部 ポイントカード

1	2	3	4	5	引換
6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	引換
16	17	18	19	20	



## ◆日本カーシェアリング協会の指導

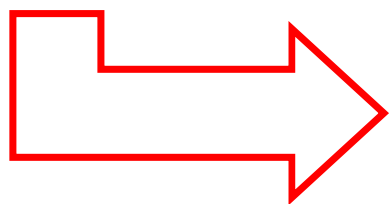
- ①始めは町区内から始めるのが良い。
- ②小鴨地区全域はやめておいた方が良い。



地区内全体に必要としている人が居るから地区全域でのスタートとする。

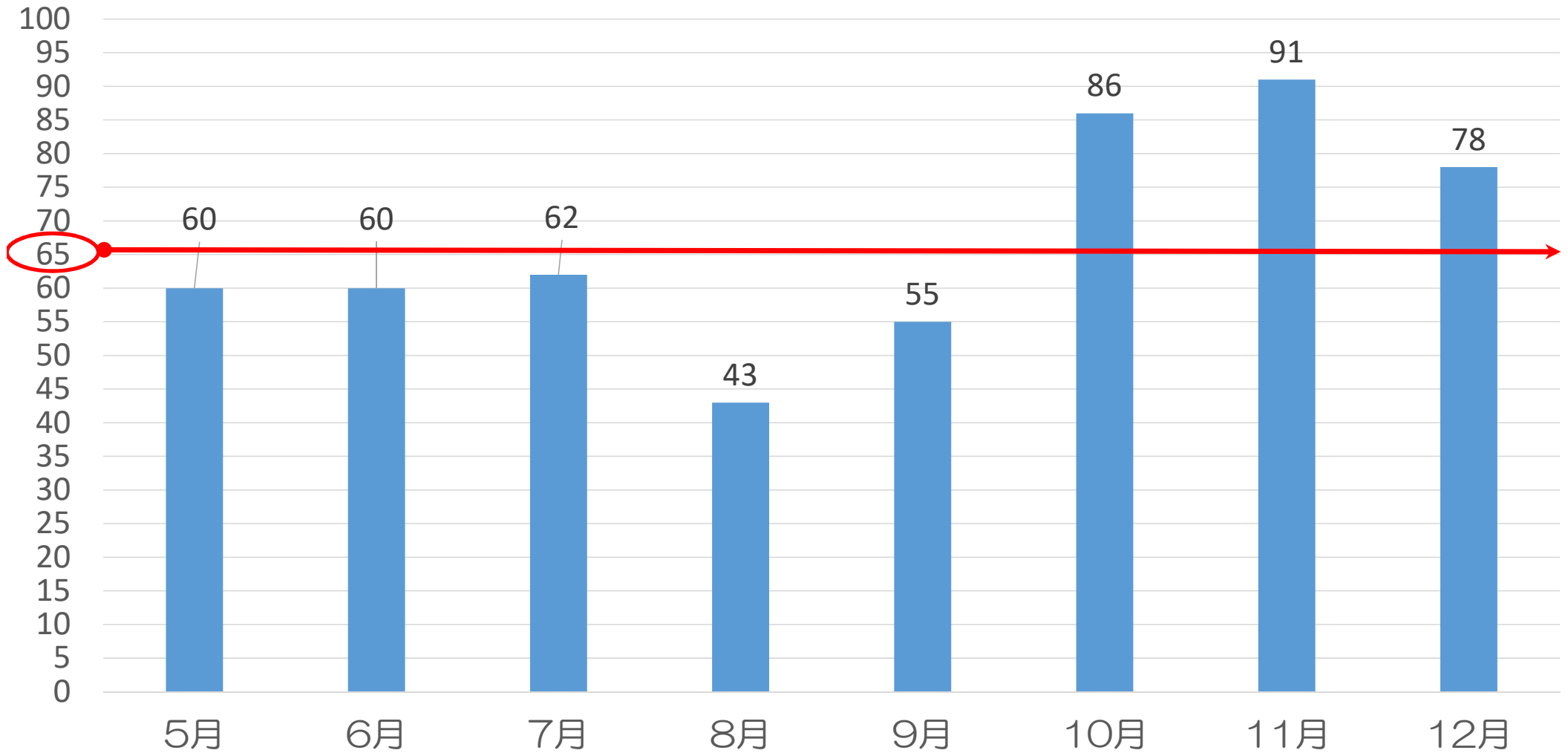
## ◆事業継続の課題

- ①固定費を賄う会員の分担金の損益分岐点

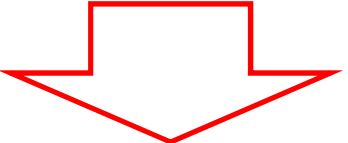


- 固定費（リース料、保険料、ガソリン代）年間31万円
- 会員分担金（利用回数65回×400円×12か月）約31万円
- 財源は会員分担金で固定費を賄える。

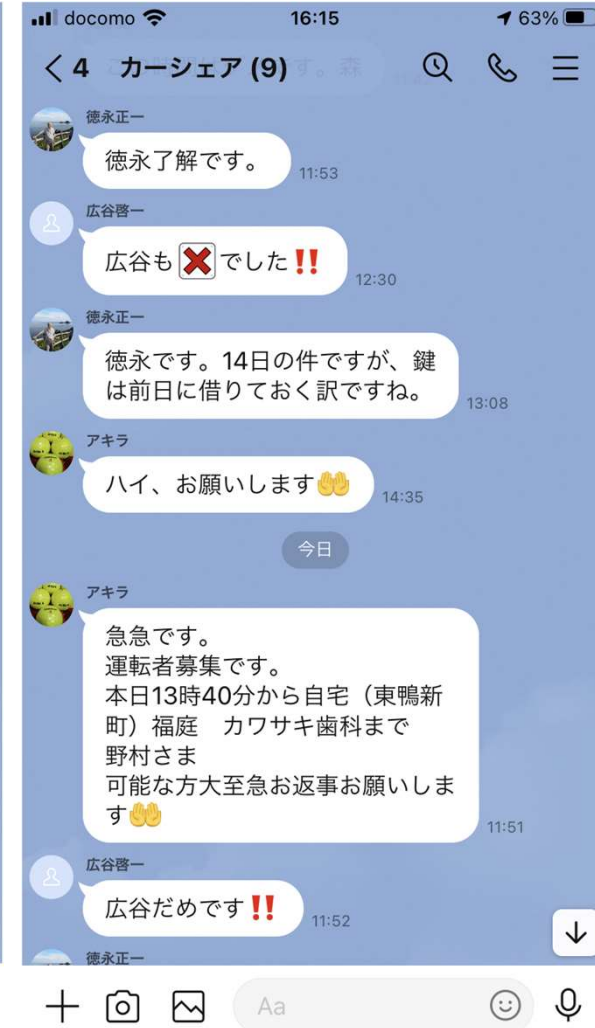
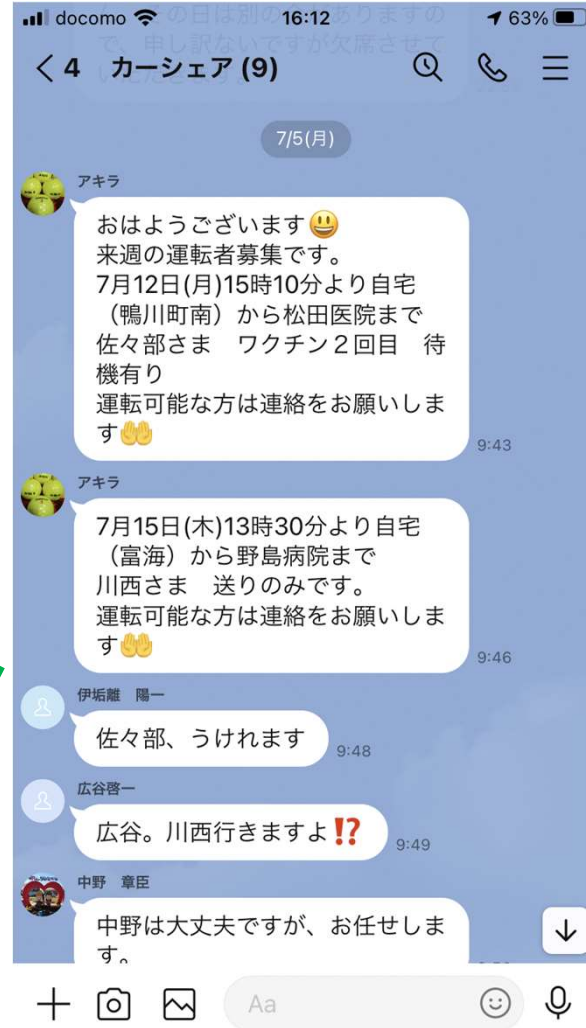
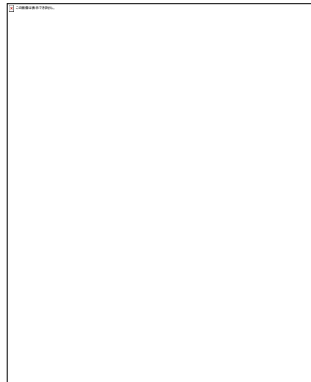
利用回数（令和3年5月～12月）



## ②ボランティアドライバーの確保



- ・ボランティアドライバーに強要しない。
- ・ライングループに入って頂き、可能な時間（隙間時間）にお願いします。



## おわりに

- ◎私たちの活動は、日常生活の一場面であり地域住民が「こんなこともしてもらえたら良いのに。」という普通のことに取り組んでいます。
- ◎私たちの活動で最も大切なのは「持続させること」です。誰もが5年後10年後の自分自身を見据え、考えて行動すること。
- ◎隙間時間を利用して地域貢献する人材を増やしていきたいと思っています。



## おわりに

- ◎小鴨地区の各団体が顔の見える活動を継続し、それぞれの活動と並行し「共助交通」とも連携できているのが強みです。
- ◎地域全体がつながっていけることで、「共助交通」に加え、新たなハードルの低いボランティアメニューを作り、地域住民で支え合う意識の「動機付け」を行ないたい。
- ◎今後も、地域コミュニティの向上と支え合い暮らしやすい地域づくりの構築を目指してしていきたいと考えています。

御清聴  
ありがとうございます  
ございました。

